

「東北ハウス」コンテンツのWeb先行公開

主な内容について

■感謝のパネル（復興に取り組む方々からのメッセージ）

- ・「東北ハウス」では、震災復興に関する様々なコンテンツを準備しています。今回はその中から、「感謝のパネル」を先行してご紹介します。
- ・「感謝のパネル」は、震災復興に取り組む方々からの復興支援に対する“感謝のメッセージ”を紹介するもので、復興にまつわるエピソードやこれまでの支援への感謝の気持ちなどを語っていただいた映像も上映します（「東北ハウス」本番では、会場にパネルとモニターを設置します）。

※岩手県・福島県各3名、宮城県2名（組）の計8名（組）の方々に登場いただきます。

[協力：復興庁]



（本番の展示イメージ）

■東北・新潟の魅力発信映像「The View from TOHOKU & NIIGATA」

～夏祭り・先行上映バージョン～

- ・「東北ハウス」本番では、仙台で生まれ、世界を舞台に活躍するクリエイター集団「WOW」（ワウ）が制作する「四季」をテーマとした「東北ハウス」オリジナル映像を上映することとしています。会場内に、180度（半円形）・円周34mの横長特大スクリーンを設置して、迫力のある映像をご覧ください。
- ・今回は、四季の中から「夏」部分を、本番のサイズから縮小編集したバージョンで先行公開します。
- ・WOWの持つ多様な映像表現の中でも、「夏」部分はモーショングラフィックス（CG）を駆使して、“普段絶対に見ることができない”（実写では撮れない）ようなダイナミックな視点で国内のみならず世界に向けて、東北・新潟の夏祭りの新たな魅力を発信します（春・秋・冬の映像は風景が中心です）。
- ・なお、180度画面での実写を含めた映像制作は、WOWとしても初の試みで、大型ドローンに360度カメラを搭載して風景を撮影したり、複数の通常サイズの映像を180度の映像に合成（ステッチング）する等の技術に初めて挑戦する意欲作です。



■東北・新潟の雪「VR映像」

- ・「東北ハウス」本番では、東北・新潟の雪の魅力をVR（バーチャルリアリティ）映像により、専用のゴーグルを付けて疑似体験いただきます。
- ・今回は、そのVR映像をWeb上で先行公開するものです。ゴーグルを付けて見る場合と異なり、臨場感は伝わりにくいかもしれませんが、冬の魅力を十分感じていただくことができると思います。



(本番の体験イメージ)

<VRコンテンツ>

青森県	秋田県	山形県	新潟県
「八甲田山のバック カントリー」 (八甲田スキー場)	「横手のかまくら」 (横手市)	「蔵王の樹氷」 (蔵王スキー場)	「清津峡渓谷 トンネル」 (十日町市)

※ 本番では、「VR体験」に加え、冬の観光映像の上映等も行います。また、屋外に“本物の雪”を体験できるコーナーも設置する予定です（期間中2日間限定）。

■東北・新潟の伝統工芸品紹介

- ・「東北ハウス」本番では、東北・新潟の伝統工芸品の実物の展示や伝統工芸品づくり体験を行います。
- ・今回は、「東北ハウス」で実際に展示する予定の東北・新潟の伝統工芸品（約130点）をすべてWebページ上でご紹介します（日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語）。



■東北・新潟のAI観光案内サービス

- ・「東北ハウス」本番では、コンシェルジュカウンターを設け、通訳案内士が常駐して観光案内を行うほか、「東北ハウスAI観光アシスタント」という東北・新潟のAI観光案内サービスも配置する予定です。
- ・「東北ハウスAI観光アシスタント」は、画面上で好みの画像等を選択いただくだけで、嗜好や関心に沿った東北・新潟の観光モデルコースをご案内します。



(イメージ)

[協力：NTTグループ]

※「東北ハウス」本番向けの試験を兼ねた公開となります。

上記のほか、本年4月から9月まで行われる「東北デスティネーションキャンペーン」との

連携企画として、バナーリンクも貼付けます。

以 上